

No.16 那覇港・土質調査（その2）

ボーリング調査ではその場所の地層の様子を見ることができます。
那覇港の海底で見られる地層の一部を紹介します。

ボーリング調査でとれたサンプル



●砂質土（沖積層）

- ・粘性土より粒が大きい
- ・地震などでドロドロになることがある

●泥岩（島尻層群）

- ・沖縄本島中南部に集中して分布
- ・やわらかめな岩

●粘性土（沖積層）

- ・とてもやわらかい
- ・ねばりけが強い

●粘性土（洪積層）

- ・強く押すと指が入り込む程度のかたさ
- ・ねばりけが強い

●琉球石灰岩（洪積層）

- ・サンゴの殻や骨格が海底に積もったもの
- ・沖縄を代表する建築材料として使われている

○沖積層と洪積層○

この2つの違いは地層が出来た年代だよ
沖積層 → 比較的新しい地層。
洪積層 → 比較的古い地層。

**同じ名前の土でも地層が変わると
違った性質になることがあるよ**



海上ボーリング調査の様子

